

令和6年5月24日



# 進路だより

京都府立与謝の海支援学校 進路指導部

5月上旬に高等部3年生の前期進路相談が終わりました。相談会では、本人と保護者等が連携機関に進路希望を伝えました。今後、福祉事業所や職場の受入状況に関する情報、利用申請の手続き等に関するアドバイスを受けながら進路実現を目指します。

今回の進路だよりでは、「福祉事業所の進路決定までの流れ」と「事業所での活動」を紹介します。



## 「高等部 福祉事業所の進路決定までの流れ」について

1年生	2学期	進路学習で福祉事業所体験を実施。
2年生	2学期	進路学習で福祉事業所体験を実施。
	1月	進路希望調査書の提出。 *希望調査書を基に、見学先の日時を調整します。
	3月	希望する福祉事業所見学 *1事業所あたり1時間程度（施設見学、事業所説明など） *保護者等に生徒の見学先まで同伴いただき、担任は現地で同行します。
3年生になるまでに、各家庭において進路相談に入っていただく支援センターを決定し、連絡していただきます。		
3年生	4月	進路希望調査書の提出。
	5月 (上旬)	前期進路相談（本人、保護者等、担任、福祉課、支援センター） *これまでの進路相談の経過や希望する実習先を各関係機関で共有します。
	6月～ 10月頃	6月～夏季休業中～10月頃にかけて福祉事業所実習 *実習は5日間程度で計画します。 *実習中の送迎は保護者等で行っていただきます。 *後期進路相談までに、担任と実習の振り返りや進路相談を随時実施し、希望する福祉事業所を検討します。
	11月 (下旬)	後期進路相談（本人、保護者等、担任、福祉課、支援センター） *これまでの進路相談の経過や希望する福祉事業所、今後の手続きに必要な書類や流れについて説明があります。
	1月	福祉課、支援センターに手続きに必要な書類を提出 *4月以降に障害福祉サービスを利用するために「障害者支援区分認定調査」が行われます。

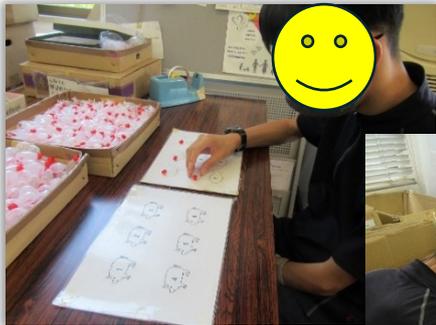
昨年度の実習の様子

タレ瓶の袋詰め、弁当箱の仕切り入れやラベル貼りを行いました。他にもお守り入れや絵馬のひも通しがありました。



調理補助として野菜の皮むきや刻み、粉の計量などを行いました。また、利用者の方の食事の配膳も行いました。

パン製造では、生地作りから袋詰めまで行いました。難しい作業も職員の方に教えていただきながら作業に取り組みました。



枝についている枝豆取りを行いました。たくさんありましたが、最後まで頑張りました。ケースのラベル貼りにも取り組みました。



「生活介護」サービスを実施している丹後圏域の事業所

与謝野町	野田川共同作業所、夢織りの郷(つむぎ)
宮津市	マ・ルート、beplus(ビープラス)、みやづ作業所、宮津サンホーム(うえーぶ)
京丹後市	かがやきの杜、四つ葉ハウス、だるまハウス、チューリップハウス、ゆうゆう作業所 みねやま作業所、峰山共同作業所、ろむ

「就労継続支援 B 型」サービスを実施している丹後圏域の事業所

与謝野町	野田川共同作業所、夢織りの郷(つむぎ)、リフレかやの里、ワークセンター花音
宮津市	マ・ルート、beplus(ビープラス)、みやづ作業所、宮津サンホーム(工房シーガル)
京丹後市	かがやきの杜、四つ葉ハウス、だるまハウス、ゆうゆう作業所、みねやま作業所 峰山共同作業所、おおみや共同作業所